

中央会

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <http://www.okachu.or.jp>

E-mail chuokai@okachu.or.jp

1

2017
January
Vol.663

おかやま

今月のFOCUS

年頭挨拶 ②

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いたします

役職員一同



足腰の強い 地域経済を築く年に



岡山県中小企業団体中央会会長
書田 眞三

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、平成29年の新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、国内においては、株価、為替の変動に始まった年明けでした。4月の熊本・大分地震や、10月の鳥取県中部地震により大きな被害が発生し、企業の経済活動にも影響がありました。

また三菱自動車燃費不正問題は、とくに本県の地域経済に多大な打撃を与え、長期間にわたり行政、産業界がその対応に追われました。

さらに世界では、イギリスのEU離脱問題、そして11月にはアメリカ大統領選挙など諸情勢が激しく変動し、わが国の経済も大きく影響を受け、株価や為替だけでなく、TPP(環太平洋連携協定)をはじめとした将来にわたる経済の重要課題に対する懸念など、我々中小事業者にとっても目の離せない年末でした。

こうした内外のめまぐるしく変化する経済情勢には今年もさらに注視し、前向きに対応していかねばなりません。

さて、わが国経済の状況を見ますと、首都圏ではアベノミクス効果と2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの経済効果で景気は回復傾向と言われているものの、地方には未だその効果は波及せず、県内の中小事業者は人手不足など厳しい経営環境にあります。

とりわけ雇用、賃金などをめぐる働き方の改革については、中小事業者はその重要性の認識は十分にあるものの、多様な経営実態もあり、実現していく経営環境は大企業とは異なり、甚だ厳しい状況にあります。岡山県中央会としてはこうした状況の把握とそれを踏まえた十分な議論の必要性について全国中央会を通し、政府に要望や意見を述べてきたところで。

国においてもこの状況を好転させるために経済対

策のキーワードを「未来への投資」とし、いわゆる「ものづくり補助金制度」などの具体的な予算措置を始め、働き方改革や生産性向上のための施策を進めており、中央会としても十分に国の施策と中小事業者との橋渡しを行ってまいります。

同時に岡山県の産業施策と強く連携して、その政策実行部門の一員として、先に述べた内外の諸情勢のなかでも乗り切っていくことのできる足腰の強い地域経済の構築のため力を尽くしてまいります。

新しい年の初めに当たり、私どもは今一度、中小事業者の連携や経営力強化という中央会の役割を自覚し、その責任を果たすべく、体制を充実し、職員の専門性を高めてまいります。

結びにあたり、本年が会員組合や企業の皆様にとり、さらなるご発展とご活躍が実感できる明るい年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

未来へはばたく中国地域



中国経済産業局長
波留 静哉

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は4月に熊本地震、10月に鳥取県中部を震源とする地震が発生し、甚大な被害が発生いたしました。被害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

さて、我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調が続いています。一方で、アジア新興国等の景気先行き等、海外経済の不確実性は高まっています。

このような状況の中、政府では将来の成長に資する分野における「未来投資」を実現するための取組を加速させていくとともに、一億総活躍社会に向けて「働き方改革」を強力に推進していくこととしていきます。

経済産業省といたしましては、中堅・中小企業、小規模事業者の「稼ぐ力」の確立を目指します。具体的には、サービス産業等の生産性を向上させるため、Internet of Things(IoT)やロボットの導入促進、技

術開発の支援を行います。さらに、「未来志向型の取引慣行」に向けて、サプライチェーン全体での取引適正化等への取組を進めてまいります。

中国経済産業局といたしましては、以下の3つの分野を重点的に取り組んでまいります。

第1に、地域産業の競争力強化や地域の新産業の創出を推進します。

中国地域の強みである「自動車」、「航空機」、「電子デバイス」等の分野で地域を牽引する中核企業の事業展開を支援し、地域産業の競争力強化を行うとともに、観光関連産業やスポーツ関連産業等、地域経済への波及効果が高い新たな産業の創出も行ってまいります。

第2に、地域産業の支えとなる中小企業・小規模事業者の生産性向上、経営力の強化を支援します。

中小企業・小規模事業者の「経営力向上計画」の認定等を通じた、サービス産業等の生産性向上、あるいは中小企業等の知的財産活動を支援するほか、事業承継の支援体制を強化してまいります。

第3に、エネルギーミックスの実現や電力・ガスの適正な取引環境の整備に取り組みます。

見直しが行われた固定価格買取制度(FIT)の適切な運用を図り、再生可能エネルギーの拡大に取り組むほか、本年4月に小売全面自由化になるガスや電力の適正な取引環境の整備を進めてまいります。これらの取組につきまして、「縁(ゆかり)パートナー」をはじめとした当局職員が現場に出向き、産学官あらゆる分野の皆様と連携を取りながら、着実に進めてまいります。

昨年は、広島東洋カープがチーム一丸となって、25年ぶりにリーグ優勝を果たしました。当局も真っ赤な情熱を持った当局職員が一丸となって、中国地域における経済の活性化に尽力する所存であります。

最後になりましたが、年頭にあたり、新しい年が皆様にとって飛躍の年となるよう祈念いたしますとともに、経済産業行政へのさらなる御支援と御協力をお願いいたします。新年の御挨拶とさせていただきます。

すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き生き岡山」を目指して



岡山県知事

伊原木 隆太

新年あけましておめでとうございます。
年頭に当たり、県民の皆さまのご健勝とご多幸を
心からお祈り申し上げます。

昨年行われた知事選挙におきまして、皆さまのご
信任をいただき、引き続き県政を担わせていただく
こととなりました。我が国は、少子化が急速に進み、
人口減少問題の克服が喫緊の課題となっており、本
県においても、おかやま創生の実現に向け、総力を
挙げて取り組まなければならない大変重要な時期に
あります。こうした中で、2期目の県政を担うこと
ができますことは、誠に光栄なことと存じますこと
もに、改めてその重責に身の引き締まる思いであり、
決意新たに新年を迎えました。

これまでの4年間、県民の皆さまの幸せのため、
また、県全体の発展のため、「顧客重視」、「コスト意
識」、「スピード感」の3つの視点に立ち、前例踏襲を
是としない県政運営に努め、「教育岡山山の復活」、
「産業の振興」など重点戦略を中心にさまざま施策
を推進してまいりました。

その結果、小学生の学力向上、非行率の半減、企業
誘致における投資や新規雇用、さらには、刑法犯認
知件数の減少などの成果が現れ、県民生活のさまざ
まな分野で、新しい種が芽吹き、好循環の流れが加
速しはじめています。

しかし、県政の基本目標である「生き生き岡山」の
実現は道半ばであり、この好循環の流れを一層加速
させるため、「教育岡山山の復活」と「産業の振興」を
本県発展の好循環のエンジンに、若い世代の結婚か
ら子育てまで切れ目ない支援や移住・定住策の推進、
医療・福祉サービスの充実など、成果が実感できる
県政をさらに推し進めてまいれる所存です。

また、人口減少問題を克服し、将来にわたって持
続的に発展していく、活気あふれる力強い県となる
ためには、新しい時代の潮流や変化を踏まえ、県、市
町村、企業、NPO、大学など多様な主体が、おかや
ま創生の実現に向け総力を挙げて取り組んでいく必
要があります。

現在、来年度からの4年間を計画期間とする新た

な県政の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き活
きプラン（仮称）」の策定作業を進めており、皆さま
からのご意見を反映させた上で、3月までの策定を
目指しています。

昨年公表した新プランの素案は、現プランの方向
性を基本としつつ、地方創生や働き方改革、グロー
バル化の進展など、新たな動きを踏まえたものとし、
さらに、政策間連携はもとより、市町村連携や官民
協働など「連携」をキーワードに新たな事業にチャ
レンジする「おかやま創生推進連携プロジェクト」
を掲げています。

皆さまから寄せられた信頼とご期待にお応えする
ため、新プランを策定した上で、この新たな羅針盤
に沿って、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生
き生き岡山」の実現に全身全霊で取り組み、成果が
実感できる1年となるよう全力を尽くしてまいりま
す。皆さまには一層のご理解とご支援を賜りますよ
うよろしく願いいたします。

年頭に当たって



全国中小企業団体中央会 会長

大村 功作

明けましておめでとうございます。平成29年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成28年を振り返りますと、英国のEU離脱表明、米国のトランプ氏の大統領戦の勝利など様々な事象による国際経済の不透明感が増す中、国内では、少子高齢化・人口減少による国内市場の縮小と実需全体の収縮や、熊本、鳥取、福島での相次ぐ地震、北海道や東北地方を襲った台風・豪雨による天災などもあり、多くの中小・小規模事業者は、非常に厳しい経営を余儀なくされ、景気回復の実感が得られない年でした。

他方、中小企業等経営強化法の施行、消費税法の改正による引上げの実施時期と複数税率制度導入の延期、PPP協定整備法の成立、IoTやAIをはじめとするデジタル化など、中小・小規模事業者を取り巻く環境は、想像を超える速さで変革しています。政府は、「ニッポン一億総活躍社会」を閣議決定し、

安倍総理の強いリーダーシップの下、「働き方改革実現会議」等において、同一労働同一賃金などの非正規雇用の処遇改善、賃金引上げと労働生産性の向上、長時間労働の是正、転職・再就職支援、人材育成などの改革に取り組んでいます。私も同会議のメンバーとして意見を申し上げてきたところです。人手不足が深刻化していますが、元気な中小・小規模事業者は、多様な人材を育成し、活用していることを実感しています。

こうした中、昨年10月19日に石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開催した第68回中小企業団体全国大会では、組合の力に改めて意識を集中し、中小企業の生産性向上の底上げと、本業の稼ぐ力の強化に向けて全力で取り組むことを確認いたしました。また、11月29日には、安倍総理をはじめ多数の来賓をお迎えし、創立60周年記念式典を開催することができました。人間で言えば「還暦」であり、平

成29年は、新たなスタートを切るつもりで、諸課題の解決に全力で取り組んで参ります。

まずは、組合の付加価値拡大への支援です。「ありきたり」の組合活動では価値はありません。組合の先（組合員）の先（顧客）の先にあるニーズを把握して、組合ならではのサービスの提供を図っていくことが大事です。また、組合事務局の事業承継も急務と考えています。地域社会との連携・絆を深め、地域の経済を支え、挑戦する中央会としての存在感を高めていきます。

本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者にとって充実した1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成29年元旦

自動車関連中小企業新分野進出支援補助金 採択企業の取り組み紹介―支援事業への高いニーズ

岡山県と岡山県中央会では、三菱自動車工業(株)の生産・販売停止により影響を受けている県内中小企業者の新分野への事業進出に向けた取組みを支援するため、専門家派遣及び補助金による支援を実施しております。補助事業に採択された10社・団体は、自動車分野以外の新分野進出を指した取り組みをそれぞれ行っております。

自動車部品のプレス加工を行っている(株)ニシキ金属では、培ってきた精密・量産・低コスト加工技術を活かしてグラウンドマンホール内に設置されるセフティラダーの設計・生産を企画。新たに三次元測定機を導入することにより、製品精度と信頼度の向上を目指して新たな事業の創生を目指しています。

岡山県と岡山県中央会では、三菱山鉄工所では、図面のない古い機械の部品を復元する「リバースエンジニアリング」をテーマとして、高精度3Dスキャナーレンズを導入。より高精度な作業が可能となり、図面のない食料品製造器、古いジーンズ織機といった機械部品の復元や、古美術品再生分野等への進出を目指しています。

その他の8社・団体についても既存技術や新たに導入する機械を活用し、足腰の強い企業体質への向上を目指す画期的な取り組みが行われており、後押しする目的で取り組みやすい支援事業へのニーズが高まっています。

(連携支援課 村上)

新たに三次元測定機を導入することにより、製品精度と信頼度の向上を目指して新たな事業の創生を目指しています。

採択事業者一覧

事業者名 (五十音順)
川上電工協業組合
株式会社共立精機
有限会社中山鉄工所
株式会社ニシキ金属
有限会社西山歯車製作所
有限会社早島金型
ヒルタ工業株式会社
丸五ゴム工業株式会社
株式会社三浦製作所
水島機工株式会社

「中小企業新ものづくり・新サービス展」開催

去る11月、各都道府県中央会が平成24年度補正から3年間実施したのものづくり補助金事業採択企業を対象とした成果発表・ビジネスマッチングイベントとして、「中小企業新ものづくり・新サービス展」が全国中央会の主催で開催されました。

大阪会場(インテックス大阪)：出展企業約600社と東京会場(東京ビックサイト)：出展企業約550社にて各3日間開催され、それぞれ約25,000人、併せて約50,000人の方が来場されました。

岡山県の企業も大阪会場に15社、東京会場には8社が出展し、展示ブースでは各社が精力的に自社のPRを行う姿が見られました。

この展示会では、ブース展示だけではなく、著名な経営者・文化人等による最先端のビジネス傾向・実践事例等の講演会や希望企業による製品、サービスや技術紹介のための出展者プレゼンテーション(岡山県3社)が開催されました。

岡山県の参加企業は、事前のニーズ・シース登録により、要望するカテゴリーの企業とスムーズな商談が実現しました。岡山県中央会のその後の調査では、新たに具体的な商談に結びついた企業が数社あり、本展示会の開催は一定の好評価を得たようです。

岡山県中央会では、過去のものづくり補助金事業を実施した企業に対してのフォローアップ事業を展開しています。展示会出展だけではなく、専門家によるアドバイス、販路開拓に関する助成やビジネスマッチング会など、きめ細かいサポートを実施しておりますので、些細な課題でもお気軽にご相談ください。

(ものづくり・労働支援課 金田)



展示会参加企業 (順不同・敬称略)

【東京会場】	タマデン工業(株)
(株)英田エンジニアリング	コアテック(株)
渡辺化成(株)	(株)イーアールディー
ユアサ工機(株)	(株)コニック
三乗工業(株)	
【大阪会場】	(有)バサラ
ハリキ精工(株)	興南設計(株)
ストローブ(株)	ユアサシステム機器(株)
東洋精機産業(株)	(株)インパムシール
(株)佐田建美	(株)コスモ情報システム
(株)ラビート	栄光テクノ(株)
(株)ミツバファクトリー	オーエム機器(株)
(株)新興製作所	室町酒造(株)

岡山県中小企業組合士会 視察研修会開催

去る11月16日(水)に岡山県中小企業組合士会(会長藤本十七三氏)が県内企業の視察を行いました。今回は県内でもバイオマス(植物などの生物から生まれた再生できる資源)に積極的に取り組む真庭市の銘建工業株式会社と真庭バイオマス発電株式会社を見学しました。

銘建工業株式会社は創業以来、主に住宅用木質構造物の供給に従事し、近年は加工過程で発生する木屑等を利用した木質バイオマス事業に取り組み、電力の販売や木質ペレットの製造販売を行っています。当日は、今年完成したばかりの「CLT工場」と工場へ電力を供給するバイオマス発電所を見学させていただきました。CLT(直交集成板)は1990年代からオーストリアを中心に発展してきており、日本では銘建工業がいち早く取り組みをスタートさせ開発・普及を進めています。役員の方や担当部署の方から企業の方針や事業概要について丁寧に説明をしていただき、参加者は今後の組合運営の参考にしようと熱心にメモをとっていました。

(総務企画課 中西)



ブランド&マーケティング戦略セミナー

当会では、来る2月2日(木)にピュアリティまきび(岡山市北区)にて、各業界にIoT時代が到来している現状から、技術的強みを活かしたマーケティング戦略及び現場改善・生産性向上に関するセミナーを開催します。

第1部では、講師に内原康雄氏(株)NCネットワーク代表取締役をお招きし、「挑戦する製造業のブランド&マーケティング戦略」と題して、ご話いただくことになっています。同社は、製造業向けにインターネットを活用したネットワークサービスを日本で初めて展開した企業であり、日本を拠点に世界の製造業を総合的に支援している経験から、これからのブランド化やマーケティング戦略についてご紹介させていただきます。

続いて、第2部では、(独)中小企業基盤整備機構より「からくり改善や自主保全等の現場改善・生産性向上から人材育成に繋がる仕組みや支援制度についてご説明させていただきます。

製造業にとどまらず、各業種にも参考になる具体的なマーケティング戦略法が学べる機会となり、講演後には講師・参加者を含めた方々による懇親会も開催しますので、是非ご参加下さい。

●問い合わせ先 組織支援課 高嶋、林

「職場における健康管理セミナー」開催

去る11月16日(水)、サン・ピーチOKAYAMAにて岡山県と中央会の共催で「職場における健康管理セミナー」を開催し、34名の方にご参加頂きました。

本年が4回目の開催となる本セミナーでは、がん、労務管理、健康管理の3つのテーマでご講演頂きました。

国民の2人に1人はがんにかかるといわれている時代、岡山県内のがん患者は全国的に多く、県内各所のがん相談支援センターが設置されているそうです。

社会保険労務士の成川彰浩氏より、労働関係法令において、老齢厚生年金や高齢者雇用安定法、育児・介護休業法等の改正について、長く働く時代の人事労務管理の留意点として、安全対策や健康管理について実務的なお話を頂きました。

また、毎日のヘルシーな食事を提供している岡山淳風会のタニタ食堂を運営している、一般社団法人淳風会健康管理センタープロモーション部長の稲岡美穂氏にはタニタ食堂の5つのルールをご紹介頂きました。心身ともに健康になるためには食事の他に、自分のからだを知ること、適度な運動を取り入れることが大切です。講演の途中、ちょっとした隙間時間に行けるながら運動を実践しました。

職員が生き生きと働けるよう、岡山県中央会も日々健康管理に取り組んでまいります。

(総務企画課 岸)

「軽い屋根より丈夫な家」&「ZEH対策」 セミナー開催 岡山県瓦工事協同組合

去る11月29日(火)、岡山県瓦工事協同組合にて「軽い屋根より丈夫な家」&「ZEH対策」セミナーが開催されました。昨今発生する自然災害において、瓦屋根の被害が甚大であったことにより、住宅屋根を軽量化する動きが見られます。しかし、実際は建物の強度不足による被害例が多く、「屋根よりも家の強度に着目すべき」と業界を上げた社会への訴えかけが必要です。そうした建物の耐震や躯体についての知識を身に付ける事や、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)・二次エネルギー消費が「省エネ&創エネ効果」により概ね「ゼロ」になる住まいの知識の構築を図る事を目的としています。

セミナーは石井二郎理事長の挨拶から始まり、続いて当組合員の一級建築士小野明氏によって、木造住宅の構造耐力についての講話がありました。「屋根が重くなるほど、木造住宅は揺れやすくなるため、重い屋根が地震に強いとは言えません。しかし、屋根の軽い重いに関わらず、耐震の観点で建物構造を比較しても差はほとんどありません。耐震のためには屋根を変えるよりも、建物自体の強度を上げる必要があ



ります。」と話されていました。

また、外部講師の(株)鶴弥営業部 加藤慶課長補佐により、ZEHについての講話がありました。CO₂排出量をマイナスにする事を国が重要視しており、それを実現する一つの方法としてZEHが着目されています。省エネルギーが進み太陽光発電の必要量が減少して、太陽光パネルの枚数が少なくなれば屋根が重要視される点や、瓦は製品寿命が長く屋根材の中では高く評価されている点、木造住宅が注目される点等が話されました。

今後住宅を守る瓦屋根の工事に携わる当組合の活躍が期待されます。

(組織支援課 吉尾)

全24回の英会話セミナーで外国人観光客へのおもてなしを学ぶ 湯原町旅館協同組合

岡山県の実施する外国人旅行者宿泊者数調査結果によると、平成28年7月から9月に県内に宿泊した外国人旅行者宿泊者数は44,420人となっており、対前年同期比140.7%の大きな増加がみられます。

こうしたなか、湯原町の宿泊業者によって構成される湯原町旅館協同組合は、英語によるおもてなしについて学ぶセミナーを実施しました。英語による接客業務をマスターすることを目標として、全24回のセミナーを開催し、組合員企業のスタッフ等約10名が参加し

ました。

チェックイン、チェックアウトや温泉の入り方の説明、レストランでの接客、周辺観光地案内等といった業務に必要な内容について、ロールプレイを中心として実施。また外国人を交えて、働いている現場でのデモレッスンを開催する等、実践的な内容で、参加者からは「非常に勉強になった。すぐに業務に取り入れていきたい」「中級編として来年度も実施して欲しい」等、好評の声があがっております。

(組織支援課 藤田)



がんばるものづくり企業 佐藤歯科

歯科用CTによる見える化で業務品質の向上を目指す

従来の歯科治療はレントゲン撮影による平面での診断でしたが、歯科用CTの登場により3次元の立体図での高度な診断が可能になりました。インプラント治療の需要が増えている昨今、岡山市北区南方にある佐藤歯科では患者の負担軽減や安心を提供するため、平成26年度補正ものづくり補助金を活用して歯科用CTを導入しました。導入背景や今後について、院長の佐藤氏にお話を伺いました。

■歯科用CTの導入背景と見える化の効果

歯科業界ではレントゲン撮影による診断が一般的ですが、平面のみの診断となります。インプラント治療等のように骨の状態によって治療方法が左右されるような場合、実際に患部を切開しなければ詳しい状態が分かりません。当院では歯科用CT導入前は、インプラント治療の際、患部の切開後に対応方針の変更を余儀なくされる事がありました。

インプラント治療は、土台となる骨の量が不十分な場合、不安定なインプラ



院長 佐藤剛一氏



歯科用CTで撮影した画像データ



導入した歯科用CT

トとなるリスクが発生します。そのため、人工材料や患者様の骨を削って作った骨粉で、骨の不足部分を補強する骨造成手

術を行う等の対応が必要です。骨造成手術を行う場合、従来は切開後に正確な補強部分の大きさが判明していたため、その場で骨粉を定着させる固定材料の作成を行わなければならず、手術時間が掛かることで患者様への負担が掛かっていました。

歯科用CTを導入する事で、平面での状態確認に加え、奥行きも含めた立体での状態確認や、骨の断面の確認も可能となります。そのため、立体図や断面図を利用した見える化により、骨造成手術が必要かどうか明確になり、患部の切開範囲の推定や確定的な対応方針を定める事が可能となります。また、手術前の説明で患者様が状態をイメージしやすくなります。さらに事前に骨粉を定着させる固定材料が作成出来るため、手術時間の短縮、患者様への負担軽減も実現出来ます。

歯科用CTが登場して約10年、当初は大変高額でしたが、年々高性能化・低価格化して、現在の相場は当初の半額以下となり、手の届く機械へと変わってきました。最先端の設備で業務品質を向上す

る事が出来るため、ものづくり補助金を活用して導入するに至りました。

■今後について

治療方針を説明する際、言葉やレントゲン写真では伝わりにくかった状態も、歯科用CTによる立体図で見える化を行う事で、患者様の理解を深める事が可能となりました。患部の状態や対応方針が明確になるため、手術回数の減少、業務品質の向上にも繋がります。患者様のインプラントに対する敷居、費用面の負担を下げることが出来ます。安全性や骨造成手術の必要性を説明し、無理なインプラント治療を希望される患者様へ正しい治療法を理解して頂く事や、今までインプラント治療を諦めていた患者様を1人でも多く治療していく事が今後の目標です。

企業データ

佐藤歯科

院長 佐藤剛一

所在地：岡山市北区南方1-7-13
業種：歯科診療所

TEL：086-222-8241

(組織支援課 吉尾)

情報連絡員レポート

11月分

岡山県業界天気図



	業界の景況	DI	売上高	DI	収益状況	DI
全体		-28.1		-21.1		-24.6
製造業		-28.6		-17.9		-17.9
非製造業		-27.6		-24.1		-31.0

業界の景況感 (前年同月比)

- 2
- 37
- 19

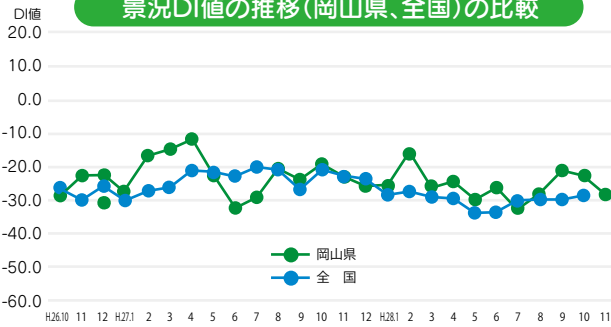
増加・上昇・好転
 変らず
 減少・下落・悪化

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

製造業		前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
食料品	味噌	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	米菓	☀	○	○	○	☀	☀	☀	☀	○
	豆腐	☔	☔	○	○	○	○	○	○	○
	醤油	☔	○	○	○	☔	○	○	○	○
	酒造	☔	☔	○	○	○	○	○	○	○
繊維工業	繊維業・井原	☔	○	○	○	☔	☔	○	○	☔
	繊維業・県	☔	○	○	○	○	○	○	○	☔
	アパレル・県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アパレル・津山	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木材・木製品	製材・県	☔	○	○	○	☔	○	○	○	☔
	合板	☀	☔	○	○	☀	○	○	☀	○
印刷	出版・印刷	☔	○	○	○	○	○	○	○	○
	製本	○	○	○	○	○	○	○	○	○
化学・ゴム	ゴム	☀	☔	☀	☀	○	☀	○	○	○
	プラスチック製品	☀	☀	○	○	☀	☀	○	○	○
窯業・土石製品	生コンクリート	☔	☔	☀	○	☔	☔	○	○	☔
	石灰	☔	☔	☔	○	○	○	○	○	○
	ブロック	☔	○	○	○	○	○	○	○	○
鉄鋼・金属	鋳物	☀	○	○	○	☔	☔	○	○	☔
	鉄鋼	○	○	○	○	○	○	○	○	☀
一般機器	機械器具・東岡山	☔	☔	○	○	☔	☔	○	○	☔
	鉄工・津山	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鉄工・岡山	☀	○	○	○	○	○	☀	○	☀
	工作機械・総社	○	○	○	○	○	○	○	○	☀
	工作機械・井笠	☀	☀	○	○	○	○	☀	○	○
	工作機械・英田	○	○	○	○	○	○	○	○	☔
輸送機器	造船・関連	○	○	○	○	○	○	○	○	☔
	自動車	☔	☔	☔	○	○	○	○	○	☔
その他	畳	☔	☔	○	○	☔	☔	○	○	☔

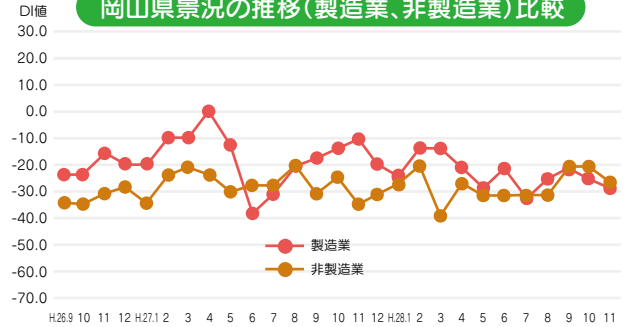
非製造業		前年同月比							
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員	業界の景況
卸売業	機械・工具	○	○	○	○	○	○	○	○
	電設資材	☔	☔	○	○	○	○	○	☔
	青果	☀	☀	○	○	○	○	○	○
	木材	☔	☔	☀	○	☔	○	○	○
	資材	○	○	☀	○	○	○	○	☔
小売業	石油	☔	☔	☔	○	○	○	○	○
	青果食品	☀	☔	☀	○	☀	○	○	○
	中古自動車	○	○	○	○	○	○	○	○
	自動二輪	☔	○	○	○	☔	○	○	☔
	家具	☔	○	○	○	○	○	○	☔
商店街	商店街・岡山	☔	☔	○	○	☔	☔	○	○
	商店街・津山	☔	☔	○	○	☔	☔	○	○
	商店街・倉敷	○	○	○	○	○	○	○	○
サービス業	自動車整備	○	—	○	○	○	○	○	○
	建築設計	☔	—	○	☔	☔	○	○	○
	旅館・ホテル	☔	—	○	○	☔	☔	○	☔
	電飾・看板業	○	—	○	○	○	○	○	○
	クリーニング	☀	—	○	○	○	○	○	○
	リサイクル	○	—	☀	☀	○	○	○	○
建設業	住宅リフォーム	☔	—	○	○	☔	○	○	○
	左官	○	—	☀	○	☀	☀	○	○
	土木工事	☔	—	○	○	☔	☔	○	☔
	管工事	☀	—	○	○	○	○	○	○
	防水工事	☀	—	○	☀	☀	☀	○	☀
運輸業	バス	☔	—	☀	☔	☔	○	○	○
	タクシー	○	—	○	○	○	○	○	○
	トラック	☔	—	○	○	☔	○	○	☔
その他	倉庫業	☀	—	○	○	○	○	○	☔
	信用組合	○	—	○	☔	○	○	○	○

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



- 全国の10月の景況は、前月対比+1.8ポイントDI値が改善し-28.1ポイントと5か月連月の改善となった。景況は着実に持ち直している。米国や中国向けが増加した輸出がDI値を押し上げた。設備投資も建設投資の増加を背景に小幅ながら増加した。個人消費は消費税増税後に落ち込んでから一進一退の動き。社会保険料等の増加もあり、将来への不安から若年層の消費低下傾向がDI値押し下げに作用して、結果として緩やかな景況回復基調が続く見込み。
- 県内の景況は、前月対比-5.3ポイントDI値が悪化し、-28.1ポイントに下げた。DI値内訳は、非製造業が-6.9ポイント悪化し-27.6ポイント、製造業が前月比-3.6ポイント悪化し-28.6ポイントとなった。為替変動と内需低迷の影響を受けて景況感は伸び悩んでいる。先行きの見通しは、海外情勢や為替の影響を受けながらも緩やかな回復をする見込み。

岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



- 製造業の景況は、前月比-3.6悪化の-28.6ポイントであった。DI値内容は、前月売上高が+10.7改善し-17.9ポイントであったが、次の項目は各々-3.6ポイント悪化し収益状況-17.9、在庫数-10.7、雇用人員10.7であった。多くの業種が景況感を不変としたが、繊維・輸送機器は悪化傾向が目立った。公共投資の増加が景況を押し上げると期待する一方で、内需低迷や為替変動の影響を不視している。
- 非製造業の景況は、前月比-6.9悪化の-27.6ポイントであった。DI値内容は、前月売上高が+13.8改善し-24.1と3か月連続で好転した。収益状況は-3.4悪化の-31.0、販売価格が-3.5悪化の10.3、雇用人員は-13.7悪化の-10.3ポイントと下げた。内需低迷と為替変動や価格競争による低価格化等により押し下げた。今年4月以降の景況DI値をみると上向きに推移しており、緩やかな回復基調にあるとみられる。

製造業

食料品

- 10月から受注が増加し、フル生産を行っている。11月は前年対比120%の売上で収益も増加した。しかし、既存店ベースでの販売は昨年を下回っており、米菓業界の寡占化はさらに進んでいるのではないかと感じる。弊社工場直売店舗はツアーバスの立ち寄りも多く、11月は前年を大きくクリアした。一方で大型店舗内の直営店舗は売上・来客数ともに苦戦を強いられている。《米菓》

繊維・同製品

- 国内は以前にも増して低調。輸出に関しては対ドルの為替相場が先行き不透明で昨年に比べ厳しい。《繊維業・井原》

木材・木製品

- 好天続きもあり原木の出材量は増加傾向にあり、相場も落ち着いている。なお、小径木は引き続きバイオマス発電等の燃料用として安定的に引き合いがある。製材品のプレカット向け材は引き続き安定しているが、全体的に需要がいま一つである。住宅着工は堅調に推移しており、今後需要の拡大が期待されるものの、集材材へのシフトが続いている。《製材・県》
- 木材加工製品販売は公共事業を中心にやや増加した。木材製品売上前年対比127% (11月末)、木材商品売上前年対比132% (11月末)。仕入原木価格は出材が昨年より大きく減少した(前年対比80%)。小径木仕入価格(和10~14cm/3m) 8,500~9,500円/m³、柱口(和16~18cm/3m)20,000~22,000円/m³。《合板》

印刷

- 年末商戦を前に印刷受注は前年に比べ低調であった。また、印刷資材価格は落ち着いており、収益状況には大きな影響はなかった。《出版・印刷》

化学・ゴム

- 11月以降の売上高は、前年を多少上回る予定である。11月は収益も昨年を上回り、12月以降も高収益を期待している。為替レートが思いもよらぬ円安に進み、今後の動向が気に掛かる。《ゴム》

窯業・土石製品

- 売上高の前年同月対比は大きく減少しているが、通年で見ればほぼ例年並みに推移しており、問題はない。《ブロック》

一般機器

- 顧客業界により好況・不況の濃淡が鮮明。電機向け部品は比較的堅調。造船・農機向けは低調である。《機械器具・東岡山》
- 前月との対比では、企業間でばらつきはあるものの、全体的にはほぼ横ばい状況である。《鉄工・岡山》
- 対前年比、対前月比ともに目立った変化はない。ただ、これから先の受注高については少し減少傾向にある。《工作機械・総社》
- 受注量は安定的に確保出来ており、売上高増加傾向である。《工作機械・井笠》

- 個別企業ではフロア建材事業減少、ウレタンパネル事業増加。全体の操業度は低下傾向である。《工作機械・英田》

その他製造業

- 原因は不明だが景況は芳しくない。消費が冷えているのは先行きの不安感からなのかもしれない。《量》

非製造業

卸売業

- 住宅建材において、商品(新建材)の入荷が遅延する。《資材》

小売業

- 大手メーカーによる取引用件の見直しが進んでいる。2017年中に決まるので、販売店の選別が進むだろう。《自動二輪》
 - 先の消費税増税による反動減からの低迷が続いている状況。国内の景況、我々業界の景況に伴い、組合員の業況も良くない状況である。《家具》
- ### 商店街
- 商店街の集客力低下。空き店舗の増加がかなり激しい。アパレル製品の販売が低下しているが、冷え込みの為に上向き可能性あり。川崎病院開業に期待している。《商店街・岡山》
 - 11月には珍しく急激な寒気に見舞われた日もあり、客足がまばら。年末商戦に向け期待したい。《商店街・津山》
 - お客様より「商店街をあげてのイベントが少なく、一年中静かですね」と言われる。《商店街・倉敷》

サービス業

- このところ大型の物件の発注が無く、特に組合への発注数も激減している。価格についても競争が激しくなり、低価格での受注となって経営的にも大変困難となっている。《建築設計》
- 温暖の為、秋の衣替えが11月にずれ込んできた。前年対比で5~10%伸びたところが多い。《クリーニング》
- 鉄・非鉄では、国内スクラップ価格は上げ基調が鮮明になり、当地区は1か月で4,500円(TON当たり)値上がりして、9月からの上げ幅は5,500円となった。原因は高炉原料の原料炭・鉄鉱石の急騰によるもの。急激な値上がりに対する警戒感もあり、市場は先行き高安両面の見方がある。古紙では、中国でのネット通販拡大による段ボール輸出増加によりやや値上がりしたが、新聞・雑誌はやや値下がり。《リサイクル》

運輸業

- 募集ツアーの集客状況は全体では前年比110%と好調だったが、秋の紅葉ツアーは80%と低調であった。一方、キャンペーン商品として企画した名古屋城本丸御殿を見学する宿泊プランや、美山茅葺きの里の日帰りプラン等が人気であった。《バス》
- 11月に入っても荷動きは全体的に芳しくない状況。しかしながら、年末及び来春に向けての在庫の備蓄は始まってきており、在庫数は増加傾向にある。在庫量のほうが出庫量より多く、倉庫スペースは圧迫してきている。組合各社も空きスペースはなく、年末対応が厳しい状況と予想される。最低賃金改定もあり、各社単価を上げて求人募集を行っているが集まりも悪い状況。ここにきて、同センター内で建設された某医薬系卸企業で200名の求人かけたこともあり、既存従業員囲い込み策で賃金UPも余儀なくされている模様。特に運送関係は、以前にも増して人手不足が続いており、深刻化している。荷主への契約料金改定の交渉も今後も継続される見通し。《倉庫業》

その他

- 年末を迎えても地場の中小企業者の動向や業況に大きな変化はないものと思われる。全体的には緩やかな景況回復基調であり、景況感は好転も悪化もしていない状況。仕入れ価格や原油価格の変動など流動的な不安要素もあるが、全体的には堅調に推移しているものと思われる。《信用組合》

情報連絡員に聞く

岡山県旅客自動車事業協同組合
理事長 梶川政文氏

当組合は昭和39年に設立され、現在では岡山県下のタクシィ業者84社で構成されています。

また、当組合の理事長であり、元日本レスリング協会理事、一般社団法人岡山県タクシィ協会の会長を務める梶川氏は、昨年11月に旭日小綬章を受章されました。梶川氏に、タクシィ業界の現状とこれからについて伺いました。

■タクシィ業界の現状を教えてください

平成14年2月1日施行のタクシィの規制緩和により、タクシィ事業が免許制から許可制へ変更等様々な条件が緩和され、既存事業者のタクシィ保有台数は増加し、新規参入事業者も現れました。しかし、規制緩和後はタクシィ台数の増加に伴い、1台当たりの売上の減少により運転手の賃金が減少。少しでも収入を増やそうとする動きから労働環境の悪化を招き、平成20年のタクシィ業務適正化特別措置法によって再規制となりました。規制緩和時と比べるとタクシィ台数は減少、現在約3400台のタクシィが岡山県内を走行していますが、事業者の後継

者不足による廃業や運転手の慢性的不足等の影響で、岡山県全体のタクシィ稼働率は約8割となっています。稼働していないタクシィに対しても維持コストは掛かるため、いかに稼働率を上げていくかが業界の課題でもあります。

運転手不足の他に、タクシィ利用者も減少しています。特に県北では、市町村が運行しているコミュニティバスを利用するお客様が多いのも相まって、事業者数が最盛期に比べて半数近くとなった地域もあります。タクシィ業界は、安くモノを仕入れて高く売るような商売では無く、お客様から頂いた料金がそのまま事業者利益となります。運転手や利用者の減少の影響は大きく、業界は厳しい現状です。

■取り組みについて教えてください

安心・安全をモットーに、一般社団法人岡山県タクシィ協会にて、年に1回はおもてなし等マナーの講習会を開催して運転手教育に努めています。また、時代の変化に伴い、外国人と高齢者の利用が増えてきたため、訪日外国人のお客様に



梶川理事長

対しては外国語シートを利用し、行き先確認を手軽に行うことが出来るような取り組みを行っています。

高齢者のお客様に対しては、運転免許証を自主返納等された方に対し、岡山県警より「おかやま愛カード」を交付しています。これに協賛しているタクシィ事業者から、タクシィ利用料1割引のサービスが受けられます。久米郡美咲町では、運転免許証を自主返納された方から申請があれば、年間に6000円分(1枚500円が12枚綴り)タクシィ利用券の

交付を行っており、買い物などのタクシィ乗車促進の取り組みを行っています。

■業界の今後について

岡山市を走る自転車「ももチャリ」も競合相手となる昨今、乗り合わせが出来る車をスマートフォンで呼べるUberのようなサービスが、将来的に浸透していくことも予想されます。そうした中でタクシィ業界が生き抜くためには、お客様にタクシィに乗っていただくためにより親切的な対応を目指し、サービスに磨きをかけて常に変化し続けなければなりません。また、タクシィ業界だけに言える話ではありませんが、高齢化する日本を支えられるサービスを展開していく必要があると考えています。

組合としても、県や観光連盟の協力のもと、利用者として今後増加が見込まれる高齢者や訪日外国人への対応を強化していくことが出来ればと考えています。

(組織支援課 吉尾)

就実大学
経営学部
課外講義

岡山の地域の中小企業のブランド化のために

第5回

ものづくり経営論 両刀使い

元気な中小企業

7年間に亘り「イノベーション企業家」と言う公開講座を開催してきました。全部で30名の地方中小企業社長の方々に登壇して頂きました。その時に講演して頂くキーワードは「元気なこと」だけです。企業が「元気」とは一体何を言うのか。それは簡単で、収益が出ており従業員が笑顔で挨拶をしてくれる会社です。表面的には第1の条件だし、「元気」はもっと簡単です。社長に会って、直後に社長のいないところで社員の方々に会って通りすがりに、挨拶をしてくれれば十分です。

でもこの候補を探していくのが結構大変な作業となります。中小企業の方々に第1の条件をインターネットで探すのは至難の業です。彼らは売上/収益を公開していない場合が多いし、現場に行かないと事情は分かりません。先日も岡山市内にあるIT関連の会社の社長さんとお話しをしました。が、やはり公開していませんでした。しかし、この社長さんとはとても元気で、候補の筆頭です。案の定社員の方々は爽やかに挨拶してくれました。

さて、その条件の本身は、しつかり吟味し、多くの関係者にも理解して頂くべく再

定義をしなくてはなりません。非常に泥臭くて短絡的ですが、「今日の飯と同時に明日の仕掛けを抜けなくやっているチーム」と定義したいと思えます。以下もう少し説明をしたいと思えます。

知識の深化(今日の飯)と探索(明日への仕掛け)

今流行の「イノベーション」とはシユンペーターの定義に即しますと「既存の知と既存値の新しい結合」です。知と知が融合して新しい知が生まれるプロセスです。即ちその知が生まれようとするとき、それが「明日の仕掛け」となっているのです。そのためには新しく異質な知識を探索しなくてはなりません。訳の分からない領域「知の探索」¹です。新しい結合方法の探索²です。発想です。当初はどうなるか分かりませんが、成果を望む訳にも行きません。しかも作り込んで、売り方まで変えなくてはなりません。

一方では「今日の飯」は何かと言うと、「知の探索」¹です。深掘りです。ある場合は狭い領域に絞り込み探索を重ねることです。この精度をあと0.5mmだけ追い込む手段を探さずして、日々改善を重ね、受注をこなす、汗を流すことです。多分それは朝の9時から夜中まで掛かりま

しょう。しかし、それを5か月も続けるとブラック企業になってしまいます。でも改善を重ねるためにはそれくらいのパラメータ検討数と時間は必要となります。再来月の月末が約束納期となっている場合が多々ありますから。

イノベーションの推進を

ものづくり戦略をマネジメントに落とし込むことを考えると、この2つの矛盾した視点をどう一つの組織、一人のエンジニアの中で可能にするか、ということに尽きると思います。大きな企業ですと無理をすることなくこのリソースを分けることが出来ますし、やることも可能でしょう。例えば3M社の15%ルールとかGoogle²社の20%ルールです。しかし規模が小さくなるとそれすら難しい。20%と言えば、月々金を考えると金曜日だけは一日中別な仕事をす

るわけにも行きません。

でもこうすることはできませんでしようか。
残りの仕事を80%、即ち月曜日から木曜日までで終わらせられれば金曜日には別な仕事を進めてもいいというのではどうでしょうか。もしくは、提案制度です。新商品・新技術開発の提案をし、吟味の上、可能性が



就実大学経営学部教授
博士(工学)

三枝 省三 氏

【プロフィール】

アメリカ機械学会、日本機械学会(フェロー)、研究イノベーション学会ほか。広島大学大学院工学研究科修了後、(株)日立製作所 機械研究所に入社。2003年からはIBMとのJVの一員としてグローバル開発で活躍。2005年広島大学産業連携センター教授として技術経営教育や新産業創出を推進。現在兼岡山大学客員教授。イノベーション技術経営、メカトロニクスに詳しく、著書には「振動モデルとシミュレーション」「アントレプレナーシップ教科書」他。

高いと判明したら次の半年は試作検証のために比較的自由な期間とします。これらは誰でもいつでもアクションを起こすことが可能とします。
前述の三元区に戻りますが、元気な会社ほとんどはこのマネジメントを全会社レベルで実践していました。今日のビジネスで経営基盤を強化し、明日の仕掛けで次のビジネスを探していたわけです。

まとめ

楽しさを倍増し元気を持続する仕掛けを組織文化まで推し進めることで益々元気になる好循環を、会社システムの中にインストールすることで新たな可能性を引き出すことができるのではないのでしょうか。グローバル化で、ビジネスを巡る状況が混とんとする中³、待っているは次がありません。

参考

- 1 入山章栄「ビジネススクールでは学べない最先端の経営学」日経BP社、2015
- 2 エリック・シュミットほか2名、土方奈美訳「Google Works 私たちの働き方とマネジメント」日本経済新聞出版社、2014
- 3 日経朝刊、内向け世界3「短期主義の限界」、2016・11/27
全般的に、野中郁次郎/徳岡晃一郎、「ビジネスモデル・イノベーション」、東洋経済新報社、2010-2を参考にしました。

掲示板

■岡山県中央会・岡山中金会共催
新年祝賀懇親会

日時 平成29年1月12日(木)18時～19時30分
場所 ANAクラウンプラザホテル岡山1階曲水

■岡山県青年中央会
創立40周年記念大会

日時 平成29年1月24日(火)15時～20時15分
場所 岡山プラザホテル

株式会社商工組合中央金庫 創立80周年

株式会社商工組合中央金庫は昨年11月30日に創立80周年を迎えました。商工中金と中央会は従来から「車の両輪」として緊密に協力しながら、地域の組合と中小企業に対する各種施策に取り組んでおります。そうした経緯から、昨年12月22日(木)に釘崎信行商工中金岡山支店長から晝田眞三岡山県中央会会長へ感謝状が贈呈されました。



企業の人事担当者の皆様へ 当センターでは

人材の確保・従業員の再就職を支援しています。

お気軽にご相談ください

ご利用時間/9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)



公益財団法人 産業雇用安定センター 岡山事務所

〒700-0826 岡山市北区磨屋町10-20(磨屋町ビル4階)
Tel.086-233-3081 Fax.086-233-1227
E-mail okayama-j2@sangyokoyo.or.jp URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

産業雇用

検索



あなたの会社の福利厚生をバックアップ

ときめきプラザ

給付金/助成金/提携施設/イベント補助など
社員の福利厚生の制度導入、充実に!!

一般財団法人 岡山市勤労者サポートプラザ

〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 岡山市勤労者福祉センター1F
☎086-223-6364 Fax.086-223-6384
<http://www.tokimekiplaza.jp> info@tokimekiplaza.jp

会費 500円/月

パソコンの便利

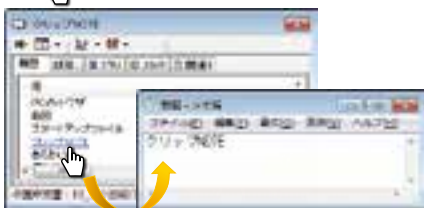
身の回りのモノで、意外と知られていない機能・ツールをご紹介します。今回は過去にコピーした文章を記憶して、再度呼び出す事が出来るパソコンのフリーソフト「クリップNOTE」です。

アプリケーションを起動して、Shiftキーを2回叩くとクリップNOTEが出現します。過去にコピーした文章はもちろん、固定の文章をあらかじめ記憶させておくことも可能。何度もコピーを繰り返していた作業は一度で済むようになります。ログインIDやパスワードを保存しておけば、ログイン画面の入力時にも大変役に立ちます。メールのやり取りが多い方は、いくつかの定型文を記憶させて業務効率を計るも良いでしょう。

インターネットで「クリップNOTE」を検索し、ヒットしたページからファイルをダウンロードします。ダウンロードしたファイルを開いてインストールした後、クリップNOTEのショートカットを作成して、スタートアップのフォルダに保存しておく、パソコン立ち上げと同時にクリップNOTEも起動するので便利です。Windows10でも使えます。是非試してみてくださいいかがでしょうか。

(組織支援課 吉尾)

Shift Shiftキーを2回押すとクリップNOTEが出現。



履歴タブにコピーしたテキストが記憶され、選択すると貼り付け出来ます。



保存タブでは登録したテキストを呼び出せます。

インストール時の設定等によりPC環境が変わるフリーソフトもありますので、導入は自己責任にてお願いします。

中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 講師 多田賢代の

健康と若さを保つ食生活を目指そう！

料理名

エッグフライ

明太子とチーズのりを卵焼きにはさんでフライにしました。食卓のおかずやお弁当の一品にぜひ作ってみてください。

● 材料 (1人分) ●

卵焼き 33g
和え衣 (小麦粉 30g 鶏卵 50g パン粉 3g 青のり 1g)
具材: 辛子明太子 6g のり 1枚 チーズ 4.5g

《作り方》

- ① 小麦粉・鶏卵を混ぜて和え衣を作る。
- ② パン粉と青のりを混ぜておく。
- ③ 卵焼きに明太子・チーズのりをそれぞれはさみ和え衣とパン粉をつけて揚げる。

私たちが考えました!



人間栄養学科 3年生

(後列左から)

北川よう、新田彩楓、北川武大、杉佳法

(前列左から) 比嘉彩月、安藤あかり



栄養価 (1切れ)

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩
明太子	44kcal	2.9g	3.4g	1.4g	0.4g
チーズのり	53kcal	3.0g	3.9g	1.7g	0.3g

今回は株式会社武田製玉部より、手焼きで丁寧に仕上げた卵焼きを頂いております。握り寿司用・巻き寿司用など、用途に合わせた商品を展開されています。詳しくは…<http://www.tamagoyaki.com/>

編集後記

新年、明けましておめでとございませう。皆様如何お過ごしでしょうか。私の今年の目標は、「身も心も引き締めて取り組む事」です。食欲の秋も疾うに終わりましたが、甘いものを中心に食欲が止まらず…。今まで無敵の痩せ形でしたが、遂にお腹まわりに脂肪が出現しました。私も永遠の少年でないのだと痛感しています。油断大敵、食べ過ぎ注意ですね。虫歯にも気を付けます (P9 サンプル画像として、現在の私の歯の状態を、佐藤先生に撮っていただきました。我ながら良い歯です)。

健康管理をしっかり行い、身も心も引き締めてまいります。本年も宜しくお願ひ致します。

(吉尾)

ボクはしんぼんし たいまうし平



経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、安定した退職金準備ができる共済制度です。

- 特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払)の場合、一般扱(口座振替月払等)で
ご契約いただくよりも、保険料が割安になります!

オーナーズプラン

経営者の事業承継対策とリスクマネジメントのために。

パートナーズプラン

従業員の皆さまの保障準備をサポートします。



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる従業員さまのケガなどの
リスクをカバーする保険です。

- 業務災害補償保険
引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社
取扱代理店 三井生命保険株式会社

* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」および岡山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 三井生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>